

報 告 書

阪技術研顧客サ第1-06260 号

受付番号	I02-01515		
依頼者	会社名	株式会社加納	
	住所	岐阜県多治見市笠原町1647-3	
試料名	(依頼者の申出による呼称) Terrawell-Pro		提出試料(1)点
No.	試験 コード	試験名	
1	Q220	消臭・脱臭性能試験(ガス検知管)	
本研究所に申込みのあった件について次のとおり報告します。 発行日 令和 5 年 12 月 5 日 地方独立行政法人 大阪産業技術研究所理事長 			
(注意事項) ・ 申込書に記載された受付番号、会社名、住所、試料名、提出試料点数、試験名等を記載しています。 ・ 試料名は依頼者の申出によるものです。 ・ 依頼者は、本報告書の記載事項について、本研究所名義とともに印刷物やインターネット等の電子媒体に掲載して広告しようとする場合は、事前に名義使用の承認申請書を提出し、理事長の承認を受ける必要があります。			

1. 試料名（依頼者の申出による呼称）

Terrawell-Pro

1 点

2. 方法

- 1) 30 L サンプリングバッグを用い、既定の初発濃度となるように臭気物質のガスを約 20 L 調製した。
- 2) 依頼者の指示により、板状の試料（16.5 cm×16.5 cm、厚さ 0.9 cm）の、側面および下面をアルミテープで被覆した。
- 3) 試料試験として、5 L サンプリングバッグ（以下、バッグと称す）の一隅をカットし、板状の試料 1 枚を入れた後、カット部分を塞いだ。
- 4) 試料を入れたバッグ内を真空ポンプで脱気したのち、試料を入れたバッグおよび 30 L サンプリングバッグを積算流量計付ポンプコントローラーに接続後、バッグ内に臭気物質のガス 3 L を注入した。
- 5) 2、4、および 24 時間後のバッグ内の臭気物質のガス濃度を、ガス検知管を用いて測定した。
- 6) ブランク試験として、空のバッグおよび 30 L サンプリングバッグを積算流量計付ポンプコントローラーに接続後、バッグ内に臭気物質のガス 3 L を注入し、2、4、および 24 時間後のバッグ内の臭気物質のガス濃度を、ガス検知管を用いて測定した。

なお、試験はすべて 20℃ の実験室内にて行った。また、使用した器具および条件を表 1 に示す。

表 1 使用した器具および条件

30 L サンプリングバッグ	ジエールサイエンス株式会社、スマートバッグ PA AA-30
5 L サンプリングバッグ	ジエールサイエンス株式会社、スマートバッグ PA AA-5
積算流量計付ポンプ コントローラー	コフロック株式会社、8500MM / ST-21111801
臭気物質（初発濃度）	ベンゼン（50 ppm）
ガス検知管（測定範囲）	株式会社ガステック ベンゼン検知管 No. 121（2.5 ppm～120 ppm）

3. 結果

試験は 1 回行った。各試験で得られた臭気物質のガス濃度を表 2 に示す。

表 2 試験結果

	ブランク試験	試料試験
2 時間後	30 ppm	8 ppm
4 時間後	30 ppm	6 ppm
24 時間後	30 ppm	6 ppm

— 以 上 —